

冬タイヤの装着率調査を実施しました。
～調査地点平均装着率は30.0%。早めのタイヤ交換を～
【調査日：平成24年11月12日（第2回目）】

初冬期においては、夏タイヤ使用によるスリップ事故や、過度に用心したノロノロ運転による渋滞に加え、それら車輛の追い越しなどにより発生する交通事故の危険性が非常に高くなる時期です。

その対策として、11月を「冬タイヤ装着月間」として装着運動を行っています。また、運動の一環として、平成23年度から11月の毎週月曜日に「冬タイヤ装着率」*1を調査し、結果を広くお知らせすることで冬タイヤ装着への注意喚起を促すこととしています。

今週11月12日（月）に秋田県内の直轄国道3箇所の峠部で冬タイヤ装着率を調査しましたのでその結果をお知らせします。

※1. 本調査の「冬タイヤ装着」とは、全車輪に滑り止めの性能を有するタイヤ又は鎖を取り付ける等、滑り止めの措置を講じている車輛としており、「冬タイヤ装着率」とは、冬タイヤ等を装着している車輛を全調査車輛で除法算出しています。

■調査地点：

- 秋田河川国道事務所管内【R46「仙岩峠」仙北市田沢湖生保内地内（野中交差点）】
 - 湯沢河川国道事務所管内【R13「雄勝峠」湯沢市横堀字六郎川原地内（新万石橋交差点）】
 - 能代河川国道事務所管内【R7「矢立峠」大館市白沢地内（白沢交差点）】
- ※調査地点において合計で100台程度を調査しています。

■冬タイヤ装着率（別添参照）

- 調査地点平均装着率30.0%（調査台数353台）
 - ・秋田河川国道事務所管内「仙岩峠」38.4%（調査台数125台）
 - ・湯沢河川国道事務所管内「雄勝峠」38.0%（調査台数100台）
 - ・能代河川国道事務所管内「矢立峠」15.6%（調査台数128台）

■今後の調査予定日：11月19日（月）、26日（月）

※調査日は天候等の理由により、予告なしに変更することがあります。

【発表記者會】

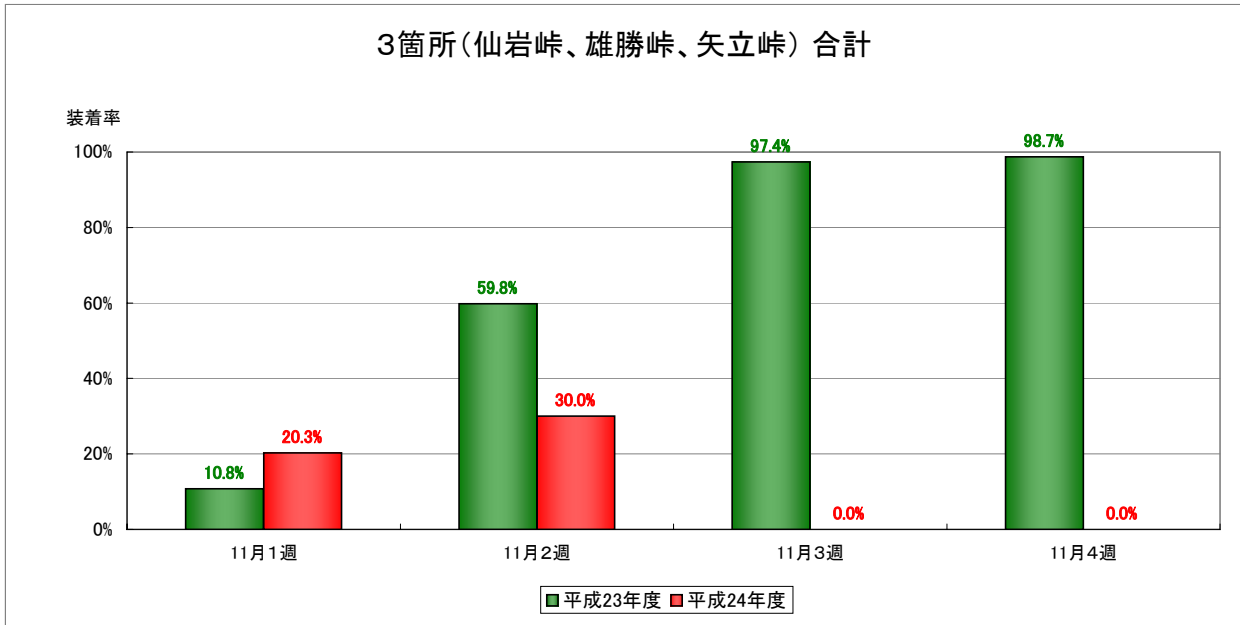
秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社湯沢支局・大曲支局、秋田建設新報社、秋田建設工業新聞社、建設新聞社秋田支局、秋田県南日々新聞、秋田民報、能代市記者クラブ、北秋田市記者クラブ、大館市記者クラブ

【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局	
秋田河川国道事務所 電話	018-823-4167（代表）
道路管理第一課長	はたけやま まさひろ 畠山 正文（内線431）
湯沢河川国道事務所 電話	0183-73-3174（代表）
道路管理課長	さかい ひろし 酒井 宏（内線431）
能代河川国道事務所 電話	0185-70-1001（代表）
道路管理課長	みづら くにひこ 三浦 邦彦（内線431）

冬タイヤ装着率（平成23年度、24年度の比較）

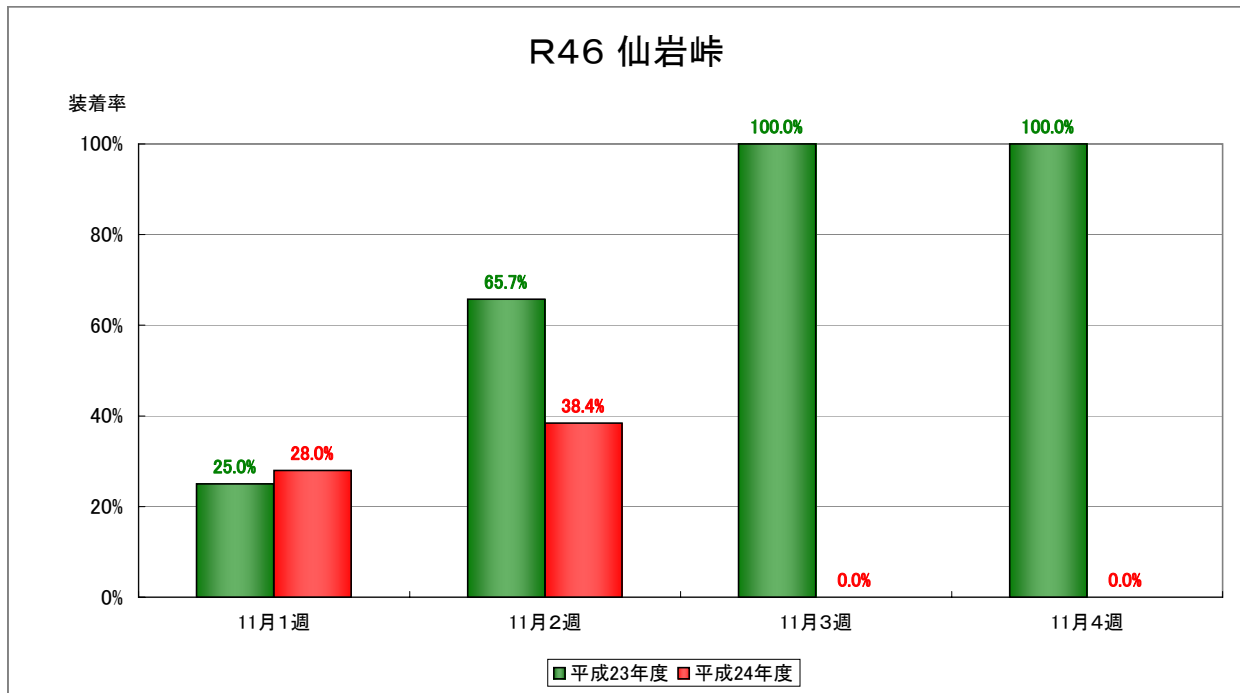
■平成23年度
■平成24年度



秋田県内全体では、前回調査（11月5日実施）と比較して冬タイヤ装着率が高くなっています。
これから本格的な冬に入り、降雪が予想されていますので、早期の冬タイヤ装着で安全運転をお願いします。
※本資料は、記者発表「冬タイヤの装着率調査を実施しました。（平成24年11月8日付け）」の継続調査です。

冬タイヤ装着率（平成23年度、24年度の比較）

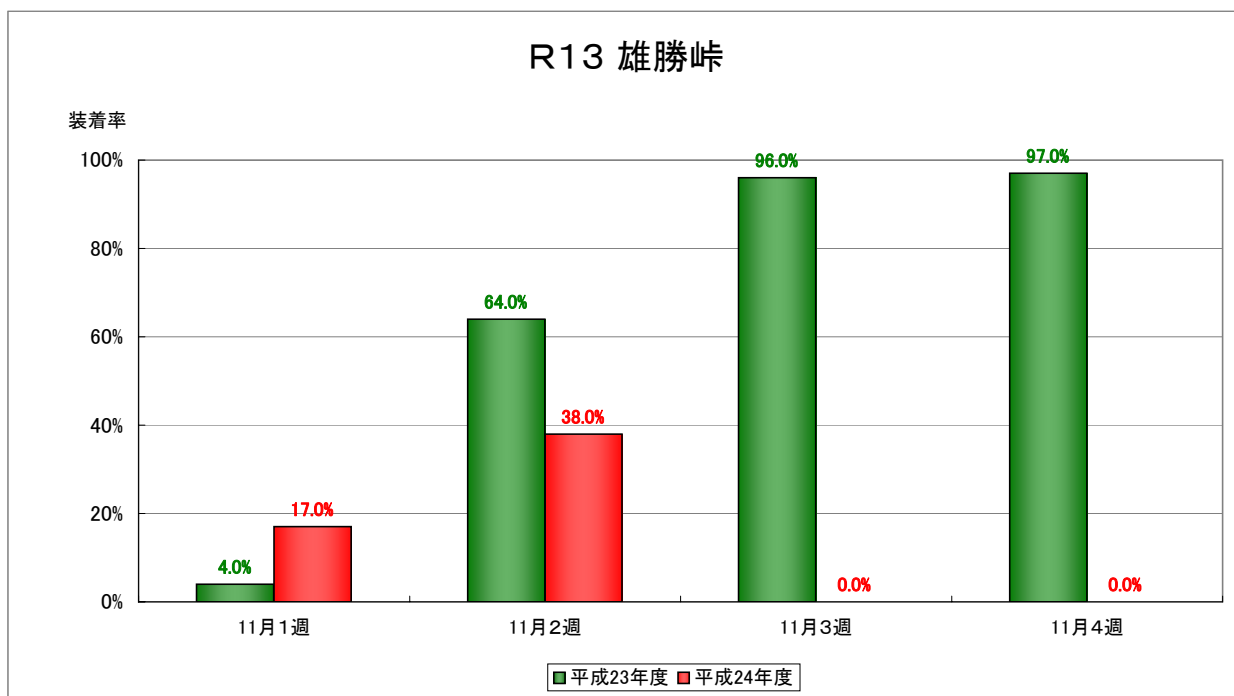
■平成23年度
■平成24年度



【R13 雄勝峠】

冬タイヤ装着率（平成23年度、24年度の比較）

■平成23年度
■平成24年度



【R7 矢立峠】

冬タイヤ装着率（平成23年度、24年度の比較）

■平成23年度
■平成24年度

